

第Ⅱ部 平成28年熊本地震

【平成30年度分】平成28年熊本地震にかかる支援状況【北九州市】

(平成31年3月31日時点)

《人的な支援》

1. 職員の中長期派遣【危機管理室】 7名 派遣中

- ・九州地方知事会からの要請を受け、中長期の職員派遣を実施。
- ・熊本市【2名】
 - * 宅地の災害復旧に係る調査、設計、現場監督等の業務（土木職2名）
平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）
- ・嘉島町【1名】
 - * 下水道施設等公共施設の災害復旧業務（土木職1名）
平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）
- ・益城町【4名】
 - * 公園等公共施設の災害復旧業務（土木職1名）
平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）
 - * 宅地耐震化推進事業（滑動崩落防止事業）業務（土木職1名）
平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）
 - * 道路等公共施設の災害復旧業務（土木職2名）
平成30年4月1日（日）～平成31年3月31日（日）

《その他の支援》

1. 義援金【保健福祉局】 募集中

- ・市役所本庁舎、各区役所・出張所に募金箱を設置（令和2年3月31日まで）
（平成31年3月29日時点 111, 311, 954円）

平成28年熊本地震の被災地への中長期の職員派遣報告

	〔派遣分野、活動期間、所属名（補職名）、氏名〕	頁
1	<u>熊本市（宅地の災害復旧業務）</u>	47
	活動期間 平成29年4月1日～（継続中）	
	補職名 危機管理室危機管理課	
	氏名 加勢川 敏明	
2	<u>熊本市（宅地の災害復旧業務）</u>	50
	活動期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日	
	補職名 危機管理室危機管理課	
	氏名 樋口 哲雄	
3	<u>嘉島町（下水道等の災害復旧業務）</u>	51
	活動期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日	
	補職名 危機管理室危機管理課主任	
	氏名 衛藤 勉	
4	<u>益城町（公園等の災害復旧業務）</u>	54
	活動期間 平成29年4月1日～平成31年4月24日	
	補職名 危機管理室危機管理課主査	
	氏名 吉谷 貴彦	
5	<u>益城町（宅地の耐震化にかかる災害復旧業務）</u>	57
	活動期間 平成29年4月1日～（継続中）	
	補職名 危機管理室危機管理課主査	
	氏名 佐藤 涼一	
6	<u>益城町（道路等の災害復旧業務）</u>	61
	活動期間 平成29年4月1日～（継続中）	
	補職名 危機管理室危機管理課	
	氏名 西山 定信	

〔派遣分野、活動期間、所属名（補職名）、氏名〕

頁

7 益城町（道路等の災害復旧業務）

63

活動期間 平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

補職名 危機管理室危機管理課

氏 名 小田 真史

熊本市における震災宅地の復旧業務に従事して

派遣先 熊本市都市建設局都市政策部震災宅地対策課
所属 危機管理室 危機管理課
氏名 加勢川 敏明
活動期間 平成29年4月1日～（継続中）

1 現地での業務

熊本市での私の所属は都市建設局都市政策部震災宅地対策課です。
平成29年4月1日より平成30年3月31日までの1年間の辞令だったが、1年間延長の指示があり平成31年3月31日までの期間となった。

熊本市での私の業務は、被災者個人の宅地復旧支援であり（アパート、マンションを含む）、その内容は次のとおりである。

（1）復旧工事

被災宅地の原形復旧を基本とした次に掲げる工事（構造基準を満たすものへの変更を含む。）

ア のり面の復旧工事

イ 擁壁の復旧工事（旧擁壁の撤去、擁壁に関する排水施設設置工事を含む。）

ウ 地盤の復旧工事（陥没への対応工事を含む。）

（2）地盤改良工事

液状化が発生したとみられる区域における液状化の再度災害防止のための住宅建屋（住宅及び住宅に付属する用途に供する建築物）下の地盤改良工事

（3）住宅基礎の傾斜修復工事

住宅建屋の基礎の沈下又は傾斜を修復する工事（ジャッキアップ等）

2 現地での活動経過

現在、私の職務は被災者の宅地復旧に関する支援でその内容は次のとおりである。

（1）事前相談

- ・担当する地区、工種等は無く手のすいた者が相談を受ける。
- ・当該申請工事が補助対象か対象外かの判断をする。
- ・地盤改良工事の場合は、熊本市液状化ハザードマップの地域内が対象

（対象地域外は液状化がみられる調査結果が必要）

- ・本申請前の申請書類のチェックをおこなう。

（2）本申請受付

- ・本申請を受け付けた者が最後までその申請を担当する。



- ・申請書類の1次審査を行ない、2次審査にまわす。
 - ・主査、副課長、課長の決裁を受ける。
- (3) 交付または不交付決定の通知
- ・決裁後、交付（不交付）決定通知書・審査内容内訳書・完了時提出書類チェック表
 - ・補助金工事完了届等を郵送する。
- (4) 完了届受理
- ・完了時提出書類チェック表に基づき審査して受領
- (5) 完了検査（現地確認含む）
- ・工事の完了を現地において確認し、撮影する。
- (6) 請求書受理
- ・請求金額・口座番号・印鑑を確認し受領する。

平成30年12月末現在の交付申請、交付決定、交付額は下記のとおりである。

	熊本県全体	熊本市
交付申請	4, 035	1, 869
交付決定	3, 933	1, 795
交付実績（千円）	7, 155, 043	3, 205, 324

北九州市からの熊本派遣がある熊本市、益城町、嘉島町の交付申請数は、計2, 723件で67%強を占めています。

3 困難であった点や改善すべき点

- (1) 困難と感じたことはあまり無かったが、職場内の情報共有に時間が掛かることがあった。
- (2) 相談者聞き取り表、審査内容チェックリスト、完了時提出書類チェック表等は概ね改善された。

4 活動を通じて印象に残ったこと

- (1) 熊本大地震から早くも3年が経とうとしていますが、まだまだ仮設住宅、みなし仮設等で生活して居られる方々が多数いるようです。
- 平成30年10月末現在熊本県全体で9, 831世帯、熊本市内にかぎっても5, 489世帯にのぼるようです。その内高齢者の一人住まいは、全体の30パーセントを超えているそうです。
- その方がたも1日も早く元の家で、元の土地で生活をしたいという気持ちでおられることがひしひしと伝わってくるように感じます。
- (2) 宅地復旧支援事業が始まって約2年になりますが、未だにこの制度があることを知らない方がいらっしゃるようです。テレビ・新聞・市政だより等の広報、各自治会長による回覧板、まちづくりセンターにおける出張相談会など手を尽くしてはいるのですが・・・

5 北九州市の防災に必要となること

北九州市では大地震による被災についてはあまり聞いたことが無いような気がします。近年は集中豪雨等の被災が多いように感じています。

アンダーパス等はかなり改善されてきているようですが、デパート地下売り場・マンション駐車場などの地下施設の対策は万全なのでしょうか？

各地の地震被害ではブロック塀の倒壊による死亡事故がよく報道されています。民間のブロック塀もかなり危険なものがあると思いますが、公共建造物での死亡事故はあってはならないものです。

北九州は地震が少ないとはいえ、市庁舎・各区役所等に加え、学校・公園等公有地のブロック塀は、現地調査が完了し、順次対応中と聞いています。

6 その他

平成30年12月5日、国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所のご好意で、阿蘇大橋（橋梁架替）、立野ダム建設工事の視察をさせていただきました。

普段は一般の人が立入り禁止の場所から見る工事現場は壮大なもので、阿蘇大橋の橋脚の高さ・橋梁の長さ等、圧倒される思いがしました。

私は北九州市で国道199号線、国道322号線、幹線街路5号線などを担当してきましたが、これほど大規模な工事は経験していません。土木技術者として羨ましい気持ちがありました。

この工事は熊本県が施工するべきものを、国土交通省が権限代行で行っているもので、阿蘇大橋は長陽大橋ルートが応急復旧で完成したとはいえ南阿蘇方面に行くには早急な完成が待たれるところです。

立野ダムは白川沿川の洪水災害を防ぐことを目的とした洪水調節専用ダムです。洪水時のみにダムに貯留し洪水調節を行うもの（ $400\text{ m}^3/\text{s}$ ）で、平常時は放流する穴を設置することで水を貯めず、通常の川と同じ状態にするものです。

立野ダムの少し上流側に、過去にずれた断層が今回の地震で再びずれた様子がはっきりわかる場所があります。大自然の力に人間の力が及ばないことが痛切に感じられました。



立野ダム建設工事



阿蘇大橋の復旧工事



熊本地震の断層

熊本地震による被災地支援活動について

派遣先 熊本市都市建設局都市政策部震災宅地对策課
所属 危機管理室 危機管理課
氏名 樋口 哲雄
活動期間 平成29年4月1日～平成31年3月31日

平成29年4月から被災地熊本に派遣され、2年になります。震災宅地对策課での業務は昨年と変わりありませんので、業務内容についての報告は今回省略させていただきます。

さて熊本に赴任した際の事です、熊本市職員さんの優しさに感心したことを鮮明に覚えています。これからの仕事内容を丁寧に且つ詳しく教えて頂いた事。あるいは電車、バス、お店と生活面に至るまで、多くの事を教わりました。多少の不安や何かしらの期待を胸にやって来た私にとって、それは大変有難いものでした。その後2年になりますが、病気もせず職場の皆様と楽しく元気に働き充実した日々を送っています。

ここ熊本の気候は、北九州に比べ夏の暑さ冬の寒さも若干厳しいようです。ただ熊本城の石垣や城周りの坪井川の景観はとても素晴らしく、歓迎されているようにさえ思え、大変有難く思っています。

次にこの1年の仕事での活動報告を致します。震災宅地对策課では毎日、被災者または被災者より工事を請け負った業者さんから多くの相談を受けています。それ以外は申請書の受付や審査を執務室で忙しく行っています。

人間、無意識の内に人の顔を覚えると思いますが、相談後に頂いたお礼の言葉と笑顔はいつまでも忘れません。この先も多くの方から笑顔を頂ける様に、北九州市・熊本市職員として誇りを持って仕事をして行きます。この様な機会を頂きましたことに、今日、感謝申し上げる次第です。



阿蘇大橋の復旧工事



熊本地震の断層